カリキュラム区分	4カリ	シラバス区分	学部生

科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	103	2年	前期	臨床検査学科	選択	国際文化コミュニケーションA Intercultural Communication A	15	1

担当教員					
尾上　智子					

関連するDPキーワード（看護学科）	
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。

関連するDPキーワード（臨床検査学科）	
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。
○	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。

授業目的

本授業は、講義と実践を通じてエスノグラフィの一部である「聞きとり」の手法を学ぶことにより、自分とは異なる他者の視点を深く理解する能力、および多面的に物事を捉える能力を育成することを目的とするものである。受講生が地域に暮らす人々（外国人住民も含む）に聞きとりを行い、それを文章記録にまとめるという過程を通して、自分とは異なる他者の視点から見える世界をいかにして理解し記録すればよいのかについて、基本的な理解を持てるようにする。最終回では、受講生が各自の聞きとりの実践について日本語あるいは英語で発表する。

到達目標（授業目標）

①自分とは異なる考えや視点を受け入れ、多角的に物事を捉えることができる。②聞きとりの技法、および聞きとり調査における注意点やマナーに関する基本的な知識が身についている。③聞きとりの文章記録の作成技法について基本的な理解を持っている。

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	オリエンテーション / 質的調査法：量的調査と質的調査の比較
2回	エスノグラフィの技法①：聞きとりの技法、倫理的配慮と調査時の礼儀作法
3回	エスノグラフィの技法②：作品化の技法、名著の講読
4回	聞きとり調査の計画と実践①：地域に暮らす外国人住民への聞きとりの実践（教育協力者に聞きとりを実施）

5回	聞きとり調査の計画と実践②：第4回のふり返り、各自の聞きとり調査の計画
6回	聞きとり調査の計画と実践③：各自の聞きとり調査の実施
7回	聞きとり記録の作成：お礼状の作成と送付、聞きとり結果の文章記録（作品）の作成
8回	聞きとりに関する発表、およびディスカッション
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

授業への積極的な参加（40%）、発表（20%）、課題（40%）。トータル60点以上を合格とする。

教科書	資料を配布します。
参考図書等	適宜紹介します。

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

個人あるいはグループで聞きとり調査を行い、個々人で課題（発表の準備、聞きとりの文章記録の作成）に取り組む必要があります。

関連科目

前科目	112	文化人類学	132	英語 I	133	英語 II				
後科目										

実務家教員

備考	